

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																			
ET451012		美術科指導法演習(Seminar in Methodology of Art Education)					教科実践																			
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																				
選択	2	1	大学院教育学 研究科	後期		氏名 藤井 康子 E-mail fujii-yasuko@oita-u.ac.jp 内線 7595																				
授業の概要	美術科指導法特論などにおける学習成果を基礎として、今日の学校において生じている課題のうち、特に図画工作・美術科における表現と鑑賞の一体化を図る指導に関する事例を調べ、教材研究を行い、実践を通して美術教育の教育実践についての理解を深めることをねらいとする。																									
具体的な到達目標																	DP等の対応(別表参照)									
目標1	図画工作科・美術科の表現及び鑑賞の指導に関して、今日の学校で生じている課題を理解することができる。																1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標2	図画工作科・美術科における表現と鑑賞の一体化を図るための教材研究を行い、実践を行う。																									
目標3	実践後に研究討議を行い、改善案を検討し作成する。																									
目標4																										
目標5																										
目標6																										
目標7																										
目標8																										
目標9																										
目標10																										
授業の内容																										
1	図画工作科・美術科における教材開発の視点																									
2	表現と鑑賞の一体化を図る教材の事例研究(実践例の紹介とそれに基づくディスカッション)																									
3	先行研究の検討・討議(自己の研究課題に関連した先行研究の発表)																									
4	美術館や博物館を活用した授業と様々な地域素材について																									
5	地域の美術館における作品鑑賞及び美術館における教育活動																									
6	表現と鑑賞の一体化を図る地域素材を活用した教材開発の演習(1)(作品及び作家の研究)																									
7	表現と鑑賞の一体化を図る地域素材を活用した教材開発の演習(2)(指導内容と方法の検討)																									
8	表現と鑑賞の一体化を図る地域素材を活用した教材開発の演習(3)(教材開発)																									
9	表現と鑑賞の一体化を図る地域素材を活用した教材開発の演習(4)(教材開発とワークシートの作成)																									
10	模擬授業による教材及び指導法の検証																									
11	表現と鑑賞の一体化を図る地域素材を活用した教材開発の演習(5)(教材及び指導法の再構成)																									
12	授業と教材の実践的検討(1)(教育現場での実践)																									
13	授業と教材の実践的検討(2)(実践の相互評価を行う)																									
14	教材開発と教育実践の成果発表会																									
15	授業のまとめ																									
ラ イ ク ニ テ ン イ グ 	A:知識の定着・確認	毎回、学生が教材開発の進捗状況について発表し、学生同士で相互に意見交流をしたり改善案を指摘する時間を設ける。														工 夫 そ の 他 の										
準備	各回の授業で取り上げる学習内容と指導方法の在り方について、配布資料や文献等をもとに現状と課題について理解しておくこと。																									
事後	授業で取り上げた内容で関心を持った事柄については、各自でさらに調べるとともに、実践を通じた理解・学びに努めること。																									
教科書	必要に応じて資料を配布する。																									
参考書	・文部科学省『小学校学習指導要領解説 図画工作編』平成29年告示。 ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 美術編』平成29年告示。																									
成績 評価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10														
	授業時の課題	50%																								
	レポート課題	50%																								
注意事項	課題について事前に受講生自身で調べてから、授業に参加すること。																									
備考	なし																									
リンク	URL																									